

令和6年度 損保決算概況について

1. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、商品・料率改定の影響による火災保険や自動車保険の増収などにより、令和5年度に比べ4.9%(4,466億円)増加して9兆5,782億円となりました。

(2) 正味支払保険金、損害率

正味支払保険金は、国内の自然災害による支払いが減少したことに伴い火災保険の支払いは減少しましたが、2024年1月に発生した能登半島地震に係る地震保険の支払いや、物価上昇に伴う支払単価の増加による自動車保険の支払いの増加などにより、令和5年度に比べ4.5%(2,414億円)増加の5兆5,714億円となりました。

損害率は、令和5年度に比べ△0.2ポイント低下して64.1%となりました。

(3) 事業費、事業費率、コンバインド・レシオ

保険引受に係る営業費及び一般管理費は、令和5年度に比べ3.0%(408億円)増加して1兆3,852億円となりました。

諸手数料及び集金費は、令和5年度に比べ2.4%(389億円)増加して1兆6,739億円となりました。

これらを合計した事業費は令和5年度に比べ2.7%(797億円)増加しましたが、事業費率は、正味収入保険料の増収により令和5年度に比べ△0.7ポイント低下して31.9%となりました。

損害率と事業費率を合計したコンバインド・レシオは、令和5年度に比べ△0.9ポイント低下して96.0%となりました。

(4) 保険引受利益

以上の増減益要因に、その他の保険引受収益および保険引受費用を加減算した保険引受利益は、令和5年度に比べ△28.6%(△506億円)減益の1,263億円となりました。

2. 資産運用の概況

資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用粗利益は、有価証券売却益の増益(1兆2,129億円)や利息及び配当金収入の増加(1,682億円)などにより、令和5年度に比べ133.7%(1兆2,767億円)増益の2兆2,316億円となりました。

3. 経常利益・当期純利益

経常利益は、資産運用粗利益の増益などにより、令和5年度に比べ114.8%(1兆2,025億円)増加の2兆2,497億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加減算した当期純利益は、令和5年度に比べ102.9%(9,216億円)増益の1兆8,173億円となりました。

4. 総資産

総資産は、令和5年度末に比べ△7.9%(2兆7,788億円)減少して32兆2,350億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、31社とも法律で求める水準を超えており、経営の健全性について問題ない水準となっています。

以上